# 市議会だより おおむら

Omura City Council News

2月号
2020年
No.286号

今回の定例会は 12月 3月 6月 9月

## CONTENTS

12月定例会…P2　町内会長会連合会との懇談会を開催…P5　市政一般質問…P6　大村市議会NEWS…P18

表紙の写真は、1月8日に開催された令和2年大村市消防出初式の様子です。

## TOPIC

◉市政一般質問　21名の議員が登壇し、新庁舎整備問題などについて議論
◉町内会長会連合会との懇談会を開催しました

# 12月定例会

**令和元年度の一般会計補正予算や条例制定・改正など、20議案を可決(同意・承認)しました。また、請願については、1件を採択し、1件を不採択としました。**

## 補正予算

### 市内の小中学校の窓を補修します

約44億7，600万円を増額する令和元年度大村市一般会計補正予算(第6号)を可決しました。

委員会での主な審査内容は、次のとおりです。

## 厚生文教委員会

### ＊小・中学校校舎等整備事業

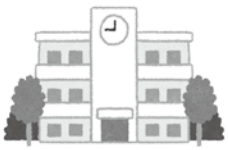
**【概要】**

本年10月に市内小学校で発生した窓落下事故を受け、市内全小中学校の窓の緊急点検を行い、落下防止のため(注1)に戸車の交換や外れ止めの設置を行うもの。

**【審査内容】**

**Q 落下防止の処置を行う箇所数はどの程度になるのか。**

**A** 戸車の交換は、小学校で223ヵ所、中学校で64ヵ所の計287ヵ所、外れ止めの設置は、小学校で1，834ヵ所、中学校で743ヵ所の計2，577ヵ所を行う。



## 総務委員会

### ＊モーターボート競走事業収益基金積立金

**【概要】**

モーターボート競走事業会計の平成30年度利益剰余金の処分額と令和元年度利益剰余金の予定処分額を合わせた総額36億6，000万円を繰り入れ、モーターボート競走事業収益基金へ積み立てるもの。(積立後の基金残高51億6，000万円)

**【審査内容】**

**Q 基金は公共施設等の整備に充てるとのことだが、現時点で具体的な使途は決まっているのか。**

**A** 現段階では明確なものは決まっていないが、来年度当初予算編成の中で基金の目的にあったものがあれば活用する。また、老朽化した公共施設の建て替えの財源や、近年実施してきた大型事業に要した起債の償還に充て、毎年度の公債費支出の平準化を図りたい。

注1：窓などの上下に取り付けて、開閉を滑らかにする小さな車輪。

## 条例

### 市の臨時・非常勤職員の処遇が変わります

大村市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例など、10件の条例制定・改正案を可決しました。

委員会での主な審査内容は、次のとおりです。

#### 総務委員会

**＊大村市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例**

〔概要〕

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い、令和2年4月1日から自治体の臨時・非常勤職員の任用区分に「会計年度任用職員」が創設されるため、本市の会計年度任用職員の給与および費用弁償に関する事項を定めるもの。

〔審査内容〕

**Q 会計年度任用職員の給与等の算定方法はどうなっているのか。**

A 報酬については、職種ごとに、その複雑さ・難しさ・責任の程度に基づき、職員の給料表に基づいて算出する。期末手当については、任期が6ヵ月以上、週の勤務時間が15時間30分以上の会計年度任用職員に支給し、支給月数は、職員と同じ2.6月となる。

## 議決

損害賠償の額を定め和解することについてなど、3件の議決議案を可決しました。

委員会での主な審査内容は以下のとおりです。

#### 経済建設委員会

**＊損害賠償の額を定め和解することについて**

〔概要〕

市道陥没事故の被害者に対し、損害賠償の金額を定め和解するもの。

〔審査内容〕

委員会では「道路パトロール用の車両に特殊なセンサーをつけて空洞箇所を確認する方法があると聞いた。道路の陥没事故は全国で発生しているので、未然防止策について研究を進めてほしい」との意見が出されました。

## 請願

### 中学校でのフッ化物洗口の早期実施を求めます

2件の請願が提出され、所管の常任委員会で紹介議員から趣旨説明を受けるとともに、請願者から意見を聴取するなど内容を検討しました。本会議においては、1件を採択、1件を不採択としました。

●中学校でのフッ化物洗口実施に関する請願（採択）

●年金の毎月支給を求める請願（不採択）

委員会での主な審査内容は次のとおりです。

#### 厚生文教委員会

**＊中学校でのフッ化物洗口実施に関する請願**

〔趣旨〕

市内全ての小学校で行われているフッ化物洗口について、まだ実施されていない中学校でも早期に実施するよう求めるもの。

〔審査内容〕

**Q 今後、フッ化物洗口をどのように実施するのか、その方向性について尋ねる。**

A 令和2年度にモデル校を指定し、実施方法を検証し、課題を整理した上で、令和3年度から全ての中学校で実施する方向である。

本請願は採決の結果、委員会、本会議でともに**全会一致で採択**されました。また、議会はこの請願を市長および教育長に送付するとともに、その処理の経過および結果の報告を請求しました。

## 陳情

3件の陳情書が提出され、所管の常任委員会で検討し協議を行いました。

●市内公共工事に関する陳情

●訪問福祉理容（出張理容）サービス介護の保険法に基づく市町村の特別給付の陳情

●「主要農作物種子条例」制定に関する陳情

## 賛否が分かれた議案と審議結果

※賛否が分かれた議案のみ掲載しています。

| 議案番号 | 件　　名 | 議決結果 |
|---|---|---|
| 第85号議案 | 一般職の職員の給与に関する条例及び市長及び副市長の給与に関する条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 請願第3号 | 年金の毎月支給を求める請願の件 | 不採択 |
| 議会第5号議案 | 大村市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |

## 議員別賛否一覧表（○は賛成　×は反対　伊川京子議長は採決に加わらない）

| 会派名 | みらいの風 | | | | | | | 進風おおむら | | | | 明青会 | | | | 大政クラブ | | | 公明党 | | 真政会 | | 無会派 | 城 | 伊川 | 賛成 | 反対 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 議員名 / 議案番号 | 光山 千絵 | 晦日 房和 | 松尾 祥秀 | 野島 進吾 | 朝長 英美 | 三浦 正司 | 村上 秀明 | 堀内 学 | 高濵 広司 | 村崎 浩史 | 中崎 秀紀 | 永尾 髙宣 | 山北 正久 | 古閑森秀幸 | 山口 弘宣 | 岩永愼太郎 | 田中 秀和 | 小林 史政 | 田中 博文 | 竹森 学 | 吉田 博 | 水上 享 | 宮田 真美 | 城 幸太郎（副議長） | 伊川 京子（議長） | | |
| 第85号議案 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | | 23 | 1 |
| 請願第3号 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | | 6 | 18 |
| 議会第5号議案 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | | 22 | 2 |

## 請願第3号　年金の毎月支給を求める請願

**賛成**　今年6月、金融庁の金融審議会は夫婦で2,000万円の老後資金が必要とする報告書を公表し、国民に衝撃を与えた。安倍政権の7年間で年金は実質6.1%も減り、日本の年金制度に対する不安が広がっている。また、高齢者の貧困も大きな社会問題となっており、国民にとって安心・安全の年金制度の構築と高齢者の負担軽減が急務となっている。その第一歩として、2ヵ月に1度の年金支給を毎月支給にすることで家計の見通しを立てやすくすることは、当然必要な手立てである。

**反対**　年金の毎月支給については、給与の支給や公共料金の支払いが毎月であることから、一定の理解ができる。しかし、給与の毎月支給は労働基準法の規定にのっとったものであり、年金は2ヵ月に1回の支給であっても減額されるわけではなく、公共料金等の毎月払いは個人の管理に委ねられていることから、毎月支給でなくてはならないとは言い難い。受給者の本当の願いは、受給額の減額停止、社会保障の充実、老後の安心などではないか。

また、毎月支給となれば事務コストは膨らみ、受給者が一番危惧する受給額のさらなる削減、現役世代の負担増につながるのではないか。

▼注2：市は12月24日、議会全員協議会において建設予定地の地下に断層が存在するとの調査結果を報告しました。

# 町内会長会連合会との懇談会を行いました

11月20日に、大村市議会と町内会長会連合会との懇談会を開催しました。この会は、町内会の運営や地域行事において中心的な役割を担っておられる町内会長の皆様と、地域の実情や市の施策に関して、意見交換を行うために開催しました。今回は、新庁舎建設問題や10月に開館したミライon図書館などがテーマとなりました。

主な議論は以下のとおりです。

## 新庁舎建設について

**町内会**

●現在の建設予定地（ボート第5駐車場）は埋立地で、地震の際は液状化の恐れがあり、防災拠点としてはふさわしくない。また、市役所へ車で行く際に市役所前の交差点を右折するのは、ボートレースの開催中などは特に高齢者にとって大変である。

●全市的に考えると、新庁舎は西大村地区に建設するほうがよいのではないか。建設予定地で実施している地質調査の結果によって建設場所の方針が変わり得るのか。

**議会**

●基本設計が予定より遅れているのは、地質に問題があるためである。

●市によると12月に結果が判明するとのことである。注2

## ミライ on 図書館について

**町内会**

素晴らしい図書館ができたので、これを活用して大学誘致につなげ、若者が定着するまちにすることはできないだろうか。

**議会**

●本市には現在、活水大学看護学部、長崎ウエスレヤン大学のサテライトキャンパス（日本語学校）がある。大学誘致については、一般質問で取り上げている議員もいるが、今後も市に訴えていきたい。

●次世代支援施策調査特別委員会においても意見が出ているが、現在、大学経営は厳しい環境にあり、安易に誘致をするのではなく、慎重な検討が必要である。

# 他の議会からの行政視察受入れ一覧

大村市議会では、本市の特色ある事業の取り組みについて、全国各地の議会からの行政視察の受入れを行っております。令和元年11月から令和2年1月までの受入れ状況は下記のとおりです。（令和2年1月31日現在）

| 月　日 | 議　会　名 | 委員会・会派名 | 人数 | 内　　容 |
|---|---|---|---|---|
| 11月5日 | 新上五島町議会 | 総務常任委員会 | 6人 | AI自動応答サービスによる業務効率化について |
| 11月6日 | 新潟県胎内市議会 | 政和会、公明党 | 6人 | 「人口増加・地方創生」について |
| 11月7日 | 奥能登広域圏事務組合議会 | | 12人 | 防災について（自衛隊、消防など関係機関と連携した防災計画及び避難訓練） |
| 11月12日 | 埼玉県所沢市議会 | 市民文教常任委員会 | 9人 | 「不登校対策の取り組み」について |
| 11月12日 | 秋田県能代市議会 | 改革ネットワーク | 3人 | ミライon図書館について |
| 11月13日 | 熊本県山鹿市議会 | 広報委員会 | 8人 | 議会ICTについて |
| 11月19日 | 愛知県常滑市議会 | 常翔会 | 12人 | ・中学校給食センターの現状について<br>・ミライon図書館について |
| 1月16日 | 青森県黒石市議会 | 無会派 | 1人 | ミライon図書館について |
| 1月22日 | 大阪府茨木市議会 | 公明党 | 3人 | 産業支援センター（o-biz)について |
| 1月22日 | 岐阜県可児市議会 | 会派きずな・無会派 | 6人 | 「市立一体型図書館」について |
| 1月29日 | 愛知県大府市議会 | 自民クラブ | 6人 | まちなか再生、空き家、空き店舗の活用、駅前周辺開発について |
| 1月31日 | 大分県別府市議会・杵築市議会 | 公明党 | 2人 | メンタルケア・アドバイザー医派遣事業について |

※人数は、議員、理事者、議会事務局随行も含む

# 市政 一般質問

12月定例会では、
21名の議員が質問を行いました。
主な内容をご紹介します。

●索 引●


防犯・防災……p6
生活・環境……p6～7
福祉・医療・保健……p7～8
産業・経済・労働……p8～9
教育・文化・スポーツ…p9～12
都市整備……p12～13
行財政・一般……p13～16


## 防犯・防災

### 高齢ドライバーへの運転補助装置支援を

田中 秀和 議員

アクセルとブレーキの踏み間違い等による交通事故が多発している。高齢者の運転免許証の返納も増えてはいるが、交通空白地や路線バスの便が少ない地域では通院や買い物の手段としてどうしても車を運転せざるを得ない高齢者もいる。そこで自動車に後付けできる運転補助装置の購入費用に対する補助ができないものか。

**答** 国は、自動ブレーキなどを搭載した新車・中古車の購入費用の一部補助に加え、後付けのペダルの踏み間違い防止装置等の費用についても、補助の対象にする方向で調整している。このような国の取り組みを踏まえ、市独自での前倒し実施の可能性や、他自治体の取り組み事例について、課題や効果などを整理して進めていきたい。

## 生活・環境

### 市民環境部行政について

朝長 英美 議員

本市における町内会加入率はどうか。また、県や自衛隊などの国の関係機関の職員の加入状況はどうか。市職員はもちろんのこと、県や国の関係機関の職員で未加入の方には加入を呼びかけてはどうか。また、市職員のOB・OGの地域でのボランティア活動状況はどうか。

**答** 本市の町内会加入率は、76.8%である。国・県関係の公務員の加入状況については把握していないが、例えば自衛隊であれば、各部隊に対し、各種周知とともに加入勧奨を行っていきたい。また、市職員のOB・OGの地域ボランティア活動への参加状況について、詳しい調査・把握はしていないが、町内会長や民生委員などの活動を熱心にされている方もいる。現役職員と同様に町内会や各種地域活動に参加することは望ましいと考えるため、OB・OGの方と接する機会があれば、参加・協力のお願いをしていきたい。

## 生活・環境

### 住民と猫が共生できる地域社会の実現を

光山 千絵 議員

近年、猫は癒やし効果もあり猫ブームとなっているが、反面、飼育放棄の猫のトラブルも多く聞く。本市独自に実施している野良猫の不妊・去勢手術費用助成の予算拡充と県実施の地域猫活動[注3]の取り組みの推進ができないか。犬猫の殺処分数が多い本県の状況改善のため、飼い主への啓発等を進め、先進事例として取り組んでほしいがどうか。

**答** 野良猫の不妊・去勢手術費用助成の予算については、本定例会に増額補正予算を計上している。次年度以降については、現在、事業の方向性等を検討している。また、地域猫活動の推進については、地域住民の方から、県に地域猫活動の申請を行うに当たり、市への協力要請があった際には、対象区域の選定や事業計画の策定等の支援を行っていきたい。

▼注3：飼い主のいない猫の過剰繁殖や糞尿による被害防止のため、県の助成を受け、市や町とともに地域住民が主体となって行う不妊・去勢手術の実施や餌の管理、排泄物の処理等の活動。

## 生活・環境

### 地域拠点の住民センターの業務拡大について

岩永 愼太郎 議員

ICTやAI等によるスーパーシティ構想の実現化により、市役所の業務の在り方も大きく変革することが予想される。行政システムの中核をなす本庁と「より身近な場所での行政サービスの提供」を行う住民センターという未来志向の発想では、地域拠点の住民センターの活用と業務の拡大が望まれるが、どのように考えているのか。

**答** 高齢化が進む中、市役所本庁舎に出向くことが困難な方が増加すると推測される。各出張所においては、ICTを活用し、申請・届け出の簡素化や本庁まで行かずに手続きが完了するようなシステムの構築を図っていきたい。

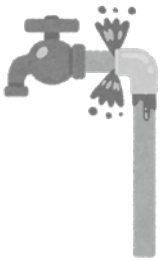
## 生活・環境

### 上下水道行政について

朝長 英美 議員

市内における老朽化した水道管の取り替え状況はどのようになっているか。また、民地横断の給水管、配水管の敷設替えをする計画はあるか。

**答** 老朽化した水道管の敷設替えについては、大村市水道事業管路更新計画に基づき、漏水履歴の多い塩化ビニール製の配水管を主な対象とし、年間約6kmの管路更新工事を実施している。平成30年度末までの3カ年で約17.8kmを更新し、ほぼ計画どおりに進めている。また、民有地に埋設されている給水管については、個人で所有し、原則個人管理するものである。開発行為に伴う場合や水圧が低い地域であるなど、給水管の敷設状況に応じて、適切に対応していきたい。また、民有地に埋設されている配水管については、市内に9カ所あると把握しており、平成30年度に原町の民有地に埋設されていた部分を公道上へ敷設替えしている。



## 福祉・医療・保健

### 骨髄移植後の子どもを対象としたワクチン再接種助成

野島 進吾 議員

骨髄移植手術などを受けた影響で、予防接種ワクチンの抗体が失われることがあり、再接種する必要がある。再接種は任意接種となり、全額が自己負担となるため、保護者にとって大きな経済的負担となってしまう。新たな助成制度を求める。

**答** ワクチンの再接種については、厚生労働省予防接種担当部会において議論がなされており、「骨髄移植以外でも免疫が落ちてしまう場合もあり、疾病による状況等もあるため再接種の対象者をどのように線引きしたらよいか課題がある」等の意見が出されている。また、現在、再接種は任意接種であることから、万一、健康被害が生じた場合は、国による救済措置の対象外となっている。市としては、全国市長会を通じ、国による助成の制度化を要望しており、現時点では市が公費で助成する考えはない。

## 福祉・医療・保健

### 「キッズゾーン」の整備を早急に!

竹森　学 議員

令和元年5月、滋賀県大津市で起きた保育士、園児が巻き込まれる痛ましい事故を受け、国は保育園児の散歩コース等に注意喚起の標示や交通規制を施す「キッズゾーン」の整備に乗り出した。市内にも散歩コースが危険な路線に面する所もあるようなので早急に「キッズゾーン」の整備を進めていくべきと思うが、市の考えはどうか。

**答** キッズゾーンについては、地域の実情に合わせた設定の検討を行うよう、11月中旬ごろ県を通じて依頼があった。本市では大津市の事故を受け、8月から9月にかけて警察・県・道路管理者の立ち会いの下、市内の保育所等が散歩や園外活動の際に利用する道路の緊急安全点検を行った。今後は、この安全点検の結果も踏まえ、キッズゾーンの設定について、道路管理者や警察等の関係機関と検討を行っていきたい。

## 福祉・医療・保健

### 多目的トイレ等へのおむつ交換台設置を要望

中崎 秀紀 議員

大村市は、「子育てしやすいまち、子育てするなら大村」を掲げているが、環境が時代に追いついていない。家事・育児への男性の参画推進や乳幼児親子が外出しやすい環境づくり、地域社会全体で子育て家庭を支える意識の醸成を図る必要がある。多目的・男性・女性トイレへのおむつ交換台設置を要望するが、市の見解を問う。

**答** 公共施設へのおむつ交換台の設置は、古い施設ではあまり進んでいない。今後、既存施設への設置について、スペースの有無や、子ども連れの方の利用状況等を考慮しながら、男性でも女性でも利用しやすい場所への設置ができないか検討していきたい。併せて、空き会議室をおむつ交換部屋として利用するなど柔軟な対応も行っていきたい。また、新たに整備する施設については、施設の規模や用途なども勘案した上で、極力設置する方向で進めたい。

## 福祉・医療・保健

### 幼児教育無償化により待機児童はどうなる?

城　幸太郎 議員

現在、潜在待機児童を含め170名の待機児童が発生している。市長も所信表明でこれは喫緊の課題であると述べている。無償化により保育利用者の増が見込まれ、それに伴い待機児童も増えるのではないか。来年度の園児の受け入れ態勢およびそれに見合う保育士の確保はできるのか。また、事業者と協議して保育士の待遇改善に努めてほしい。

**答** 無償化の対象となる子どもは、既に就園している園児がほとんどであるため、目に見えて申込者が増加してはおらず、来年4月においても大きく増加するとは想定していない。来年度の保育所等の定員については、145名分増やす予定であり、必要な保育士についても既に確保され、受け入れ態勢は順調に進んでいる。また、保育士の待遇改善については、現在の取り組みに加え、今後より一層、市と法人と一体となって取り組んでいきたい。

## 産業・経済・労働

### 棚田地域振興法と市内での指定の可能性

田中 秀和 議員

今年6月に成立し、8月に施行された棚田地域振興法では、棚田地域の指定を受ければ多くのメリットがある。その概要と市内での地域指定の可能性を尋ねる。現在、中山間地域等直接支払制度[注4]に取り組んでいる43の集落については、ぜひ新制度でも指定いただけるよう担当部局の尽力を求める。

**答** 棚田地域に指定された場合、国からの中山間地域等直接支払交付金の拡充や農業関係の国庫補助金の補助率のかさ上げ、補助要件の緩和などの支援措置が受けられる。地域指定の可能性については、本市においては、現在、中山間地域等直接支払制度に取り組んでいる集落を含む地域が対象となるため、棚田地域に指定されるよう、国の動向を注視し、集落や県・九州農政局と協議しながら進めていきたい。

## 福祉・医療・保健

### 市立幼稚園および保育所の再編整備方針について

村上 秀明 議員

市立幼稚園・保育所については、おおむら子ども・子育て支援プランの中の「再編整備方針」で述べている、教育・保育サービス適正化の基準施設としてだけではなく、市長も所信表明の中で「喫緊の課題である」としている待機児童の解消の受け皿としても、今後も必要なものではないかと考える。このことについての市長の考えを尋ねる。

**答** 待機児童の解消については、公立・私立園問わず重要なことであり、これまでも施設の整備や定員増、保育士確保策に取り組んできた。公立園が担う役割としては、特別な配慮を要する子どもの対応は当然のこと、市内の保育・教育のモデルとなることが重要である。現在、今後の方向性について、現場の先生方も含めて議論している。

▼注4：中山間地の耕作放棄地の発生防止や解消を図り、農地の多面的機能（洪水防止、水源涵養、景観維持など）を確保する観点から、農業生産条件が不利な農地の維持・管理のため、集落等に対して交付金を支払う国の制度。

## 教育・文化・スポーツ

### ミライonを生かしたまちづくりについて

小林 史政 議員

県立・市立一体型図書館が大村駅前に大きく完成し、年間60万人の来館者が見込まれている中、この図書館を生かしたまちづくりは避けて通れない。開館後初の議会、また市長も2期目を迎えて初めての議会であることから、市長の力強い答弁を求める。さらに、図書を返却される方の路上駐車の問題についてどのように考えているか。

**答** 九州最大規模のミライon図書館には、県外からの来館者も見込まれる。これまでの図書館の在り方、子どもの教育・大人の生涯学習の場だけにとどまらず、文化・芸術の発信、医療・福祉・ビジネス・商店街の活性化拠点にするとともに、まちづくりの重要な拠点として、さらなる移住・定住促進に結びつけていきたい。また、図書返却時に周辺道路に駐車しないよう、エントランス付近に設置している一時的に車を停められるスペースを利用するよう周知していきたい。

## 産業・経済・労働

### 補助金利用でメイドイン大村の商品開発を!!

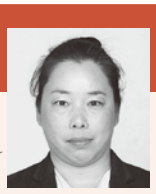
晦日 房和 議員

商工会議所が2年に1回開催する「おおむらじげたまグランプリ」や、本市が新幹線の開業効果を最大限に高めるための取り組みを定めた「新幹線開業アクションプラン」においても、オリジナルなメイドイン大村の特産品・お土産の開発が期待されている。商品開発を推進するため、ものづくりに関する国・県・商工会議所等の補助金制度の内容の一例紹介と、市のホームページで補助金制度のコーナーが探しにくいので改善をお願いしたい。

**答** 国の補助制度である小規模事業者持続化補助金制度は、従業員数20人以下の事業者が、持続的な経営に向けた経営計画に基づいて、地道な販路開拓や売り上げ拡大、生産性向上への取り組みに要する経費の一部を補助するものであり、補助対象の経費には、機械装置やポスター等の広報費、展示会への出展費などがあり、幅広く利用できる補助金である。市のホームページについては、目的の情報にたどり着くまでに時間がかかるものもあるので、見やすくなるよう見直しを行いたい。

## 教育・文化・スポーツ

### 奨学金の情報をもっと市民に知らせてほしい



宮田 真美 議員

市の単独事業である高校生や大学生を対象とした給付型奨学金や貸与型奨学金については市のホームページに掲載されているが、都道府県が実施している高校生等奨学給付金や来年度から始まる修学支援新制度は掲載されていない。チラシ配布だけでなくホームページにも掲載し、有益な情報は市民に対し積極的に知らせてほしい。

**答** 夢や志がある生徒たちが経済的な理由によって夢を諦めることがないよう、国や県、他の団体の制度についても、市のホームページ内にリンクを貼るなどして、積極的な情報提供に努めていきたい。

## 教育・文化・スポーツ

### 学校建て替えは福重小学校からですよね?

竹森 学 議員

市の「アセットマネジメント事業計画」によると令和5年度から福重小学校の校舎の建て替えが始まる予定になっているが、この計画に変更はないか。また、市長のマニフェストに「学校と住民センターの統合により地域教育拠点としての学校運営を目指す」とあるが、これは福重小学校から実行されると思っていいのか。

**答** 現在、教育委員会ではアセットマネジメント事業計画を踏まえた学校施設長寿命化計画の策定を進めており、学校施設として求められる機能や役割などを考慮しながら、優先順位や長寿命化改修、建て替え等の方向性を改めて検討している。現在のところは、一番古い校舎である福重小学校から検討を行う予定である。また、市長としては、地域教育拠点のモデル校についても、これまでもふくしげ夏まつりや防災訓練などを学校で実施し、地域振興に寄与している福重小学校で実施できないかと考えている。

## 教育・文化・スポーツ

### 新複合型体育館の建設を急げ

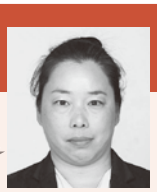
高濱 広司 議員

本市の観光行政は、スポーツ観光を推進するに尽きる。そのためには武道館や文化ホールとの複合型体育館の建設が急務である。旧体育館跡地に建設すれば、シーハットと併せてミニMICE[注7]が完成し、さらに大きなスポーツ大会や大規模な文化イベントが誘致できる。そして、何より体育館を使いたいという市民の長年の悲願がかなう。

**答** 複合型体育館の建設については、しっかり検討していきたい。また、この体育館で文化ホールの機能を補うことができないか考えていきたい。

## 教育・文化・スポーツ

### 変形労働時間制導入についての見解を問う



宮田 真美 議員

教員の長時間労働は深刻な問題である。先般成立した給特法[注5]改正案に盛り込まれている変形労働時間制は、自治体の判断で令和3年4月から導入が可能である。この制度は8時間労働制の原則を崩すもので、教員の長時間労働を一層助長するものである。導入を危惧する報道もあっているが、今後の導入について教育長の見解を問う。

**答** 学校における働き方改革は、超勤時間の上限策定、業務の役割分担・適正化などの取り組みを総合的に進めてこそ成果が上がるものと認識している。1年単位の変形労働時間制[注6]は、休日のまとめ取りによる教職の魅力向上に資するものと理解しているが、他の長時間勤務の削減方法とあわせて取り組むべきものと考える。本市においては、令和2年度からの3学期制移行とあわせて、教職員の負担軽減、働き方改革を進めていきたい。

## 教育・文化・スポーツ

### 小中学校のトイレ洋式化のさらなる前進を!!

永尾 髙宣 議員

現在、本市における小中学校のトイレの洋式化率は43.7%であり、市は今年度から4年間、全体事業費1億6,000万円をかけて、旧文部省が示した児童用便器数の標準に基づき、男子50人に1穴、女子20人に1穴は洋式トイレとなるよう整備する方針である。整備後の洋式化率63.4%を見込んでいるが、「子どもたちの環境を守る」ために、ボートの財源を使ってでも2年間ぐらいで早期に実現ができないか。

**答** 限られた財源の中で事業を進めていくには、年次計画で行うことも重要であると考えており、全体の財源の合理的な活用という形で計画し、4年間で整備するということで進めている。一方で、しっかり国の財源が活用できるように、継続的に獲得できるように要望活動を続けていきたい。

## 教育・文化・スポーツ

### どうしてる? 文化ホール検討委員会

城　幸太郎 議員

市長のマニフェストに「文化ホールとしての機能を他の公共施設の多目的利用、複合化により補うことができないか検討します」とある。検討委員会の協議が遅々として進まない一つの要因として財源問題があると考えられる。ボート事業収益から繰り入れて積み立てた基金を文化ホール建設の財源に充てることについての市長の見解はいかに。

**答** 基金を文化ホール建設の財源に活用することは、その性格上問題ない。ただ、文化ホールについて、建てる、建てないも含めた議論を行っている背景には、文化施設の稼働率の問題がある。これと体育施設の稼働率を考えたときに、体育施設の優位性・優先度が高いのではないかという結論に至っている。文化ホールを先送りにするということではなく、文化ホールで行う活動を体育館の複合化により補うことができないか、市民の理解を得られないかということを検討している。

▼注5：公立学校における教員の職務や勤務態様の特殊性に基づき、時間外勤務手当や休日勤務手当を支給しない代わりに、給料月額の4%分を教職調整額として支払うことなどを定めた「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」の略称。
▼注6：1カ月を超え1年以内の期間を平均して1週間当たりの労働時間が40時間を超えないことを条件に、業務の繁閑に応じて柔軟に労働時間を設定できる制度。
▼注7：企業等の会議・研修会（Meeting）、企業等の報奨・研修旅行（Incentive Travel）、国際会議や学会などの大規模な会議（Convention）、展示会・見本市、イベント（Exhibition/Event）の頭文字を使った造語で、これらのビジネスイベントの総称。

## 教育・文化・スポーツ

### 既存の市営テニスコートの更新について

晦日 房和 議員

黒丸町の総合運動公園内に整備中のテニスコートの一部である6面が、令和2年4月から使用できることになった。一方、既存の市営テニスコートである、①ボート場裏の人工芝コート4面、②浄水管理センター敷地内のクレーコート3面については、今後、維持および更新はどのようになるのか、市の見解を尋ねる。

**答** ボートレース大村そばにある人工芝コート4面の大村市テニスコートについては、総合運動公園の全14面が完成した後も、引き続き開設する。浄水管理センター敷地内にあるクレーコート3面の松山テニスコートについては、他のテニスコートの利用状況等を見ながら当分の間は引き続き開設するが、この場所はし尿処理施設の建設予定地となっているため、施設建設時には閉鎖することにしている。

## 教育・文化・スポーツ

### 小中学校エアコンについて

堀内 学 議員

11月25日に市内21小中学校全ての教室へのエアコン設置が完了した。児童生徒の健康状態に十分に配慮した上で、柔軟に運用するとともに、点検・清掃においても、先生方や児童生徒の負担とならない清掃の取り組み、学校薬剤師による点検実施を求める。

**答** エアコンの運用については、「大村市立小・中学校エアコン運用方針」において、基本となる稼働期間・時間、設定温度等を定めている。清掃については、シーズン前に教職員が各教室のエアコンのフィルター清掃を行う。学校薬剤師の点検については、学校保健安全法施行規則に定める環境検査である、学校環境衛生基準に基づく教室内の化学物質の測定等を行うこととなっている。

## 教育・文化・スポーツ

### 大村市新歴史資料館の目玉展示物について

山口 弘宣 議員

大村市は、平成30年度に坂本龍馬筆、渡辺昇宛書（約1,400万円）、桂小五郎筆、渡辺昇宛書（約200万円）の幕末の偉人の手紙を購入している。新歴史資料館のオープンに当たり、桂小五郎筆の手紙は展示されていたが、それよりも評価額が7倍もする坂本龍馬筆の手紙はなぜ展示されなかったのか。その理由と今後の展示予定を問う。

**答** 常設展示室は限られたスペースの中でさまざまな歴史を紹介しているため、展示する資料点数はどうしても限られる。坂本龍馬の手紙についても、単体としてもインパクトがあるため、企画展示室において1月から開催する新収蔵品展で展示を予定している。坂本龍馬の手紙に限らず、多くの方に足を運んでいただけるよう、積極的にPRを行っていきたい。

## 教育・文化・スポーツ

### 市民会館の建設について

松尾 祥秀 議員

市民会館（文化ホール）について、建設を求める1万7,000名余りの人の署名が提出されているにもかかわらず、なぜ問題にしてもらえないのか。

**答** 平成29年9月議会において「新たな市民会館の建設を求める請願」が採択された。しかし、これ以前の平成28年12月議会において「新たな体育館の建設及び武道館の建替えを求める請願」が採択されている。体育館、文化ホール、それぞれを建設することが一番望ましいが、近年、大型公共工事がめじろ押しであるため、優先順位をつけて進めていく必要がある。そういった中、稼働率や利用団体を考えたときに、体育館のほうがより市民から求められていると判断している。文化ホールの建設をすぐにできないのであれば、その活動の場を何とか体育館の中で提供できないか検討している。

## 教育・文化・スポーツ

### 学校健診後の未受診が半数である対策は

山北 正久 議員

県保険医協会の2018年学校健診後治療調査報告書によると、健診後に「要受診」とされた児童生徒の半数超が「未受診」であるという実態が明らかになった。科目別の未受診率は、眼科63.9%、耳鼻科51.2%、内科66.4%、歯科57.2%で、高校生は全科において約80%であった。「未受診」の背景には、貧困問題等が潜んでおり、学校だけでなく行政、医療などの関係機関が連携し、改善するべきであると指摘している。本市の対策について尋ねる。

**答** 各学校において、受診につながっていない児童生徒については、養護教諭が直接個々の保護者に連絡をとり、受診を勧めるなど手だてを講じている。未受診解消のためには児童生徒の自覚と保護者の理解を深めることが大切だと考える。今後も個別に繰り返し丁寧に受診を促していきたい。

## 教育・文化・スポーツ

### 校舎を安全に使用するための対応を求める

中崎 秀紀 議員

学校施設は、未来を担う子どもたちが集い、生き生きと学び活動する場であるとともに、非常災害時には避難所となり、安全性の確保は極めて重要である。老朽化した校舎が多い中で、安全性を高め、長寿命化を図るためにも、専門家による点検と老朽化を考慮した予算措置が求められるが、市の対応はどのようになっているか。

**答** 学校施設については、今年度から、劣化等により是正の必要が生じている箇所を把握し、常時適法な状態に維持することを目的とした1級建築士等による点検（3年に1回）を実施している。この点検結果等も踏まえ、必要な予算措置を講じていきたい。また、現在策定を進めている学校施設長寿命化計画に基づき、これまでの、施設に不具合があった際に改修を行う事後保全型から、適切な時期に改修を行い、不具合を未然に防止する予防保全型へ転換を図っていきたい。

## 都市整備

### 美しい街路樹を生かした街づくりについて

岩永 愼太郎 議員

市内では、景観や環境保全のために多くの街路樹が植えられているが、現在、大木化による根上がりや落葉などの課題も生じている。このために、街路樹の多くが強剪定され、本来の樹形が損なわれ、美しいはずの樹形や街路樹の魅力が失われていると考える。今後の維持管理について、どのように考えているのか。

**答** 電線や信号機などの支障となる樹木については、剪定による対応を行っており、木の根による路面の隆起等への対応については、根を切るなどの処理や防根対策、植えかえなどの処理を行っている。落葉樹の剪定については、一部の区間を除き、今年度から季節感などを重視し、紅葉を楽しめるよう落葉後に剪定を行うようにしている。

## 都市整備

### 大村公園の石垣の修繕や各所の整備

野島 進吾 議員

大村公園大手門・穴門付近の石積みのはらみは修繕されないのか。また、トイレや案内看板の改善・改修整備が必要であると考える。

**答** 穴門付近の石積みについては、詳細な調査と復旧方法の検討が必要であることから、現状の確認を行うための測量を平成30年7月から半年おきに、これまで3回実施しており、現在までに変位等は見られていない。今後も、半年おきの調査を継続するとともに、さらに簡易的な測定器を設置して、日常的な観測を行っていきたい。

## 行財政・一般

### 女性が仕事や家庭で活躍できる支援策を

光山 千絵 議員

女性活躍推進法が平成27年9月に制定されたが、活躍支援策はまだ不足し、女性の雇用環境改善と男性の育児参加等が十分できる制度や企業風土が必要である。市役所の職員を対象とした大村市特定事業主行動計画[注8]には女性の声をいかに反映させたのか、課題と次期計画への改善策を尋ねる。また、女性活躍推進に向け、本市の施策をどのように進めていくのか市長の考えを問う。

**答** 計画の策定に当たっては、人事課の女性職員3名が中心となり、女性の意見が反映されるよう策定した。計画に掲げる育児休業取得率などの数値目標を達成していないため、引き続き取り組みを進めるとともに、次期計画の策定については、さまざまな意見を踏まえながら進めていきたい。また、女性活躍推進に向けては、制度を整えることは当然ながら、男性の家事・育児への参画に向けた意識の醸成、女性の職場や地域などで社会の一員として責務を担っていく意識を高めるなど、男女ともに意識の変革を促していく必要があると考える。

## 都市整備

### 市営住宅入居時の保証人を一人にしてほしい

田中 博文 議員

高齢化が進む現代では、入居時の保証人確保にも困難を要することとなっている。市内の市営住宅戸数は合計1,475戸であり、単純計算すると、2,950人の保証人が必要となる。独居世帯も増え続ける中、果たしてこの先も保証人2人が必要なのか。住民に優しい政策からかけ離れたシステムは一新すべきと考える。

**答** 市営住宅の入居契約時の連帯保証人の人数については、近年、身寄りの少ない単身高齢者が増加していることや、入居希望者の円滑な入居の促進を図る観点から、令和2年4月以降、現在の2人から1人とする要件緩和の実施に向け、現在調整している。

## 行財政・一般

### V・ファーレン長崎の誘致は、諦めよ

高濵 広司 議員

総合運動公園整備は、3期事業まであるが、補助金の配分が期待できない、土地の取得も進まない、予定地は既に民間が活用している、八方ふさがりの事業である。2期事業で終えるべきである。このような地に元々構想になかった体育館まで新設して、V・ファーレン長崎の誘致をと市長は言う。見返りもない誘致は即刻諦めるべきである。

**答** 現在、1期事業を進めているが、2期以降の実施については、関係団体との協議が必要である。現在、総合運動公園内でのV・ファーレン長崎の練習拠点誘致を検討しているが、ここに体育館を建設すれば、市民スポーツの振興やV・ファーレン長崎が目指す地域創生が実現できるのではないかと考える。新たな地方創生推進交付金の獲得につながる可能性や、スポーツによるさまざまな波及効果を考えれば、八方広がりである。このことについては今後も議会と議論させてもらいたい。

## 行財政・一般

### 大学・学部の大村誘致について

小林 史政 議員

市長2期目の所信表明において「特色ある大学・学部の誘致等を進める」と強調された。大村市における大学や学部の誘致は若者の地元定着の観点からも願ってやまない。誘致を進めるために、今後、具体的にどのような取り組みを行うのか。また、現時点でどこかの大学・学部にアプローチを行っているのか。

**答** 大学・学部の誘致については、これまでも有識者や関係者と意見交換会を行ってきた。大学全入時代と言われる今、どんな大学でもいいということではなく、特色を持った大学・学部の誘致に努めていきたい。現時点では公にお話しできるような段階には至っていないが、市長のマニフェストや所信表明でも述べているように、今後4年間でそのような動きに結び付けていきたい。

▼注8：被用者が仕事と家庭生活の両立を図りながら、それぞれの能力を最大限に発揮できるよう、事業主が職場環境の整備を進めるための計画。特定事業主とは、国・地方公共団体等を指す。（※民間企業は「一般事業主行動計画」を策定）

## 行財政・一般

### 市政情報配信について

堀内　学 議員

大村市民9万7千人に対して、命を守るための防災や、より良く生きるための福祉、憩えるイベントなどの伝えるべき情報がたくさんあると思うが、決して一方的な発信ではなく、しっかりと伝えることが大事である。迅速かつ詳細にそれらを周知する方法としては、どのようなものがあるか。

**答**　市民に情報を伝える媒体としては、広報紙やホームページ、市全域に瞬時に情報を伝達する防災行政無線、メールマガジンや公式フェイスブック・LINEなどのSNS、各支所などに配布するイベントポスターやチラシ、おおむらケーブルテレビの情報番組などがある。市民にとって、どのような方法が容易でストレスなく情報を取得できるか勘案し、さまざまな媒体での情報発信に努めている。

## 行財政・一般

### 石井筆子の顕彰にあわせてイベントの実現を!!

永尾 髙宣 議員

「天使のピアノ石井筆子の生涯」の著者、眞杉章氏の編集後記には「その華やかな前半生から後半は一転して障害児の福祉と教育に専念し、明治、大正、昭和と3代にわたる激動の時代にあって、いばらの道を切り開いた、その生涯の意味は大きい。日本人の誇りでもあり、21世紀を照らす一条の光ともなる」と述べられている。彼女の存在を多くの人々に知ってもらうため、顕彰の一環として石井筆子展等ができないか。

**答**　女性教育や障害児福祉で活躍した石井筆子の顕彰については、市としても、これまでシンポジウムや展示会、図録の発行、コンサートなどを行ってきており、民間でも「まんがおおむら人物伝　石井筆子」が刊行され、大変好評であった。しかしながら、石井筆子の功績が全国はもとより市民に伝わっていないのは残念である。今後、石井筆子を題材とした特別展等の開催に向け、滝乃川学園[注9]などの関係機関と連携をとりながら進めていきたい。

## 行財政・一般

### 会計年度任用職員になり何が変わるのか

山口 弘宣 議員

大村市も非正規職員の数が全職員数の半数近くを占め、業務も多様化した中で、「同一労働・同一賃金」とよく言われる非正規職員の待遇の考え方をどのように捉えているのか。また、令和2年4月1日から、非正規職員の大部分が会計年度任用職員に移行するが、就業規則や賃金規定はどのように見直されるのか。

**答**　今定例会に上程している「会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例」（3ページ参照）は、同一労働・同一賃金の原則を十分に勘案して提案した。報酬については、常勤職員と同じ給料表等を適用し、その職務と責任に応じて決定し、期末手当等の手当についても常勤職員との均衡を考慮して整備するなど、不合理な待遇の格差がないよう努めている。賃金規定については同条例の中で整備し、就業規則については勤務時間や休暇制度などを規則で整備することとしている。

## 行財政・一般

### 新庁舎建設について

松尾 祥秀 議員

新庁舎建設については、現時点で何が決まっていて、これから何を決めようとしているのか。また、新庁舎の完成図（外観）のデザインは決まっているのか。また、新庁舎の大きな機能の一つとして、防災拠点の役割を挙げているが、その防災拠点とは具体的に何をするのか。市民にわかりやすい言葉で説明をお願いする。

**答**　現在、ボート第5駐車場を新庁舎の建設予定地とし、庁舎の構造や各階の基本的なレイアウトの検討など基本設計の作業を進めているが、地質調査の工期延長に伴い、基本設計の工期も延長する。また、新庁舎のデザインは、設計業務の提案を受けた段階であり、決定していない。防災拠点としての庁舎は、災害時に市民の生命と財産を守るため、自衛隊や警察など関係機関が参集した災害対策本部を設置し、応急対策や復旧・復興対策を円滑に実施する活動拠点としての役割を担う。

▼注9：東京都国立市にある石井筆子の夫亮が創設した、日本初の知的障害者（児）福祉施設。

## 行財政・一般

### 新庁舎は地震に耐える安全な場所へ建設を

水上　享 議員

新庁舎建設計画地は、防災拠点としての庁舎を早期に建設できるという観点からボート第5駐車場が選定された。しかし、地質調査の速報結果では軟弱地盤であることがうかがえる。基本設計の工期は12月20日までとなっているが、完了は無理と考える。市の最大事業である庁舎建設の計画地をなぜ現庁舎裏でこだわるのか理解できない。全ての観点から早急に方針を変更すべきだ。

**答**　これまで、市民の声を聞きながら、議会の議決を経ながら、現庁舎周辺で建設することで進めてきている。現在の状況としては、地質調査において、計画地の地下構造に不明確な部分があったことから、12月20日まで工期を延長し詳細な解析、分析を行っている。これに伴い、基本設計業務の工期についても、最終的な地質調査の結果を踏まえ、構造形式や事業費の算出等を行い、基本設計に反映させる必要があることから、本年度末まで延長する。

## 行財政・一般

### V・ファーレン長崎の練習場は発電所跡地へ

水上　享 議員

平成13年に国の事業認可を受けた総合運動公園は、平成30年度末時点で第1期事業の進捗率が約80%、総事業費が約31億円となっている。さらに2期・3期の計画がある。この地にV・ファーレン長崎の練習場誘致のため、市はサッカーコート2面や体育館の建設費用を負担する考えだが、私は反対する。距離的に近い火力発電所跡地を練習場としてV・ファーレン長崎の単独計画として進めるよう関係者と協議すべきだ。

**答**　現時点で、総合運動公園の中にV・ファーレン長崎の練習場をつくると決定したわけではない。2期事業において、サッカー場2面の整備計画があるが、1期事業の未整備部分と入れ替えができないか等を検討している状況である。また、体育館については、ジャパネットホールディングス側は、プロバスケットボールのBリーグ参入を考え、練習場となる施設の整備をしたい、一方で市も、第2体育館を早急に建設したいという双方の思いが重なり、話題に上っているが、まだ具体的な協議を行っている状況ではない。

## 行財政・一般

### 9月定例会の議決に対する、市長の見解は?

村崎 浩史 議員

議会は9月定例会において、令和元年度一般会計補正予算を修正可決、平成30年度一般会計決算を不認定、市長が任命した教育委員に対し全会一致で辞職勧告を決議し、議事機関として意思表示をした。市長は、これらに対する見解を全く発信されていない。市のトップとして、どのように受け止め、対応していくおつもりか。

**答**　この3つの議案に対する各委員会や各会派、本会議の協議結果について、重く受け止めている。令和元年度補正予算で修正削除された地域経済循環創造事業については、事業者と協議し、総務省へ取り下げの連絡をし、今後同様の議案を上程することはない。平成30年度決算の不認定については、今後、問題となった歴史資料館のデジタルコンテンツ展示について、議会に対し説明責任を果たすとともに、次年度予算編成に向けて、ランニングコストやさらなる活用について協議していきたい。教育委員については、任期までしっかり務めてもらう。

## 行財政・一般

### ボート選手所持品オークションで集客増を図ろう

田中 博文 議員

携帯電話の普及とともに、舟券購入方法の大多数が電話投票に変わってきたことで、本場への来場者が減少してきている。現在でも、著名人を招いての各種イベントや家族連れの方々も参加しやすい環境づくりに鋭意努力を重ねておられるが、さらに人気選手のファン層拡大と来場者数の増加を目指し、オークションの開催を提案する。

**答**　本場への来場促進策として、現在、有名選手の所持品を提供してもらい、ファンサービスに積極的に活用している。選手が所持しているTシャツ、ジャンパー、グローブ、ヘルメットなどにサインを入れてもらい、各種イベントでのファンサービスやキャッシュレス・電話投票会員のポイント還元商品に活用している。今後とも、来場促進のため、魅力あるファンサービスの提供に努めていきたい。

## 行財政・一般

### ボート臨時従事員の処遇改善について

村上 秀明 議員

現在、ボートレース事業が多額の利益を生み出し、大村市政や大村市民に貢献できるのも、従事員の協力や理解があってのことと考える。経営再建時における競艇企業局と従事員組合との交渉を踏まえ、経営状況が好調な今だからこそ、処遇改善に早急に取り組むべきと考えるが、どうか。

**答** 平成17年に交わした覚書には、売り上げ等の回復により経営状況の安定が明らかに認められた場合にあっては、人件費等の各種削減施策について見直しを行うとしている。これに基づき、平成20年度以降は、賃金の見直しを実施している。削減前の水準には達していないが、ほぼ毎年度、賃金のベースアップのほか、一時金の加算や職務手当の新設などを実施している。今後も引き続き、経営状況を勘案しながら、従事員の処遇改善に取り組んでいきたい。

## 行財政・一般

### V・ファーレン長崎ファーストではなく、市民ファーストであるべき

村崎 浩史 議員

総合運動公園周辺にV・ファーレン長崎のクラブハウス・専用グラウンドの整備計画がある。私はそれらの施設整備費に対して、市から財政支援をするべきではないと思うが、市はどのように考えているのか。また、新たな体育館建設はジャパネットホールディングス側が構想しているバスケットボールチーム優先で、市民が利用しにくい体育館になるのではないか。

**答** V・ファーレン長崎の専有施設の整備については、ジャパネットホールディングスが投資する。また、新たな体育館について、ジャパネットホールディングス側が専有することはあり得ない。そうであれば、市はそれを一切受けるつもりはない。ただ、市は以前、bjリーグ[注10]へ参入しようとした経緯もあり、そのようなことを通して、市民と共有する、市民がいろんなものを得ることをイメージとして持つことは悪くないのかなという感触を得ている。

▼注10：2005年に始まった日本の男子プロバスケットリーグ。2016年にナショナルバスケットボールリーグ（NBL）と統合し、Bリーグとなった。

## 行財政・一般

### 内政・外政担当の副市長二人体制は急務である

山北 正久 議員

本定例会冒頭で今後4年間の市長の決意と言える「所信表明」を聞いたが、大村市は大型プロジェクトがめじろ押しであり、行政事務も多様化し、複雑化する中にあって、市長の直属のパートナーである副市長二人体制は避けて通れない最大の課題であり、また人事であると考える。内政面と外政面担当の副市長の任命は急務と考えるが、どうか。

**答** 所信表明にあるさまざまな政策の実現や課題の解決には、どういった人員体制がいいのか、どういった副市長の体制がいいのか、しっかり今後も考えながら、最終的には3月の定例会で選任議案を上程したい。

## ～ 議会傍聴のご案内 ～

12月定例会の本会議には、延べ147名の市民の皆様に傍聴していただき、大変感謝申し上げます。

今後も、市政発展のために全力で取り組んでまいりますので、よろしくお願いします。

本会議・委員会はどなたでも傍聴することができます。市民の皆様から選ばれた市議会議員の活動や市政の方針などを直接確かめることができる最も身近な方法です。

事前の申し込みは必要ありませんので、お気軽にお越しください。

**令和2年3月定例会の予定**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 2月 | 27日（木）10時<br>本会議（議案審議）<br>委員会（議案審査）<br>28日（金）10時<br>本会議（議案審議） | 3月 | 3日（火）～6日（金）10時<br>本会議（市政一般質問）<br>9日（月）10時<br>本会議（市政一般質問）<br>10日（火）～13日（金）10時<br>委員会（議案審査）<br>16日（月）13時<br>委員会（議案審査）<br>19日（木）10時<br>本会議（議案審議） |

※定例会の予定（日時等）は変更となる場合があります。

※2月21日（金）の議会運営委員会で決定します。

## 各議員が通告した質問項目は以下のとおりです。

○光山　千絵
女性活躍推進法に基づく市の取り組みと課題、民間事業主への啓発／地域猫活動の普及と野良猫対策の拡大と適正飼育啓発／自治会加入の促進と男女共同参画、老人会と子ども会の充実、子どもの地域行事参加／他

○小林　史政
保育の課題／子育て支援／竹松・富の原小学校の教室確保／大村市の人口対策／大学・学部の誘致／「ミライ on」を生かしたまちづくり／町内会加入促進対策／屋内市民プールの利用料金／他

○竹森　学
教育施設の長寿命化／水道管の破裂／キッズゾーン整備等／教育現場での事故によるけが等の発生状況と対応／給食におけるパン食再開後の現状の確認／給食費の公会計への移行／他

○田中　秀和
長崎空港国際線利用推進／ケーブルテレビの普及支援／合併処理浄化槽、中水道／災害時電源として電気自動車の公用車への導入／道の駅鈴田峠／横断歩道のカラー化／諏訪六角交差点の時差信号化／他

○野島　進吾
骨髄移植ドナー支援制度の実績／骨髄移植後のワクチン再接種費用助成／大村公園環境整備／ZEKKEIライド／大村湾データコンソーシアムの内容／乗合タクシーの現状／バス路線再編／稼げる農業の取り組み／他

○宮田　真美
奨学金制度／自傷行為への対応／変形労働時間制／おむナビの普及／インボイス制度の周知／福祉避難所の利用／国保の子どもの均等割減免制度の実施を求める／国保の傷病手当の制度創設／他

○高濵　広司
歳入確保対策の基本方針と取り組み状況／使用料改定の周知期間／厚生労働省の言う市民病院の再編統合／市民病院の経営状況／新市庁舎建設計画の進捗状況／他

○城　幸太郎
ミライ on 駐車料金誤徴収、歴史資料館のデジタルコンテンツの利用者数・反響／大村出身偉人マンガ本作成／プレミアム付商品券の販売状況／新外向前売発売所の利用状況・跡地利用計画／Ｖ・ファーレン長崎／他

○永尾　髙宣
久原駅の新設に向けて／総合運動公園の整備、今後の計画／校舎・体育館の壁・屋根の塗装剥がれのメンテナンス／今後の市の施設整備（新庁舎、武道場、第2体育館、市民会館）の方向性／他

○堀内　学
小・中学校のエアコン設置状況とメンテナンス／マンホールカード／ドローン配備・活用法／データ放送の認識と見解／ミライ on 図書館における行政視察と受入体制／他

○朝長　英美
老朽化した上水道管の敷設／県道久原沖田線道路の排水／町内会加入問題／出張所利用／市営相撲場建設／副市長二人制や農業商工各部長制／他

○岩永　愼太郎
市長マニフェストのスーパーシティ構想／ICT・AI等による業務の効率化と新庁舎のスリム化／美しい街路樹を生かしたまちづくり、樹木の選定と植栽の現状／新幹線高架橋の雨水の排水／他

○晦日　房和
いじめ／プラットおおむらの会議室の利用状況／メイドイン大村の食品開発推進／ものづくり等の補助金制度／総合運動公園テニスコート整備、既存コートの更新／下水の高度処理／自然災害対策／他

○松尾　祥秀
市長選当選証書授与後のNHKニュースでの市長の発言／新庁舎建設／市民会館建設／幼保小・小中連携教育・一貫教育プロジェクト会議／他

○山口　弘宣
大村市が所有する古美術品の総数および総評価額または文化財リストの内容／決算不認定に対する市の見解／大村市役所における働き方改革／大村市の最大の課題である水資源の確保策／他

○中崎　秀紀
老朽化を考慮した予算措置要望／ミライ on 図書館・歴史資料館アンケート実施要望／歴史資料館の積極的な情報発信／第8期介護保険事業計画／認知症対策／神戸モデル／おむつ交換台設置要望／他

○水上　享
新庁舎建設／モーターボート競走事業収益基金積立金／各事業予算／ミライ on 図書館／中心市街地活性化／総合運動公園整備／Ｖ・ファーレン長崎の練習拠点整備／競艇事業の経営状況／他

○田中　博文
野良猫不妊・去勢手術費用の助成額の拡充を求む／市営住宅入居時の保証人は一人でもよいのでは／特定健診・がん検診の受診率向上を急げ／ボート選手所持品のオークション開催による集客数アップを望めないか／他

○村崎　浩史
大村湾ZEKKEIライド 2019 の総括と今後／来年度の庁内組織の在り方／ 2020 年東京オリンピック・パラリンピックへの対応／市庁舎の建替え／他

○村上　秀明
大村湾沿岸地域（5市5町）首長会議の活動内容、大村湾沿岸地域の発展に向けた振興策／市庁舎建設整備基金／市内小中学校における不登校児童の現状／農地転用／他

○山北　正久
副市長二人体制／新市庁舎建設／防災士養成／新相続法／訪問福祉理容／年金生活者支援制度／事業承継税制／障がい者の親亡き後の支援施設／早生樹植林助成／住宅ポイント／がん教育／学校健診後の要受診児童生徒の未受診／他

# 大村市議会NEWS

## 大村湾沿岸議員連盟議員総会･研修会を開催しました

10月25日にシーハットおおむら大会議室にて、「大村湾沿岸議員連盟」総会･役員会が開催され、本市議会をはじめ大村湾沿岸の市･町議会および県議会の議員など合計94名が参加しました。本議員連盟は、大村湾の環境美化や大村湾を生かしたまちづくりの実現に向けて取り組むため、平成15年に本市議会が中心となり設立されたものです。

当日の総会では役員の改選が行われ、その後の研修会では、長崎県土木部道路維持課･道路建設課から、大村湾沿岸地域における自転車道整備･道路整備について説明を受けました。

総会の冒頭には、園田裕史大村市長より祝辞をいただきました。

研修会では、サイクルツーリズムの推進に向けた取り組みなどについて説明を受けました。

## 本会議の様子を中継しています

大村市議会では、本会議の様子をさまざまなコンテンツで中継しています。

**おおむらケーブルテレビ**
**11ch**
当日の19時から
12chで再放送

**FMおおむら**
**76.3MHz**
一般質問のみ

**インターネット放送**
（大村市議会ホームページ）
URLは
こちら→

**YouTube公式チャンネル**
URLは
こちら→

## 編集後記

令和となり初めての新年はどのように過ごされたでしょうか。この市議会だよりが皆様の元に届く頃には季節も歩みを進め、梅のつぼみもほころびを見せていることと思います。私をはじめとする8人の新人もあと2ヵ月程で議員として1年を迎えます。大村市発展のため、季節と同じく一歩一歩着実に精進して行くことをお約束いたします。本年は今後の大村市にとって重要な決断の年になるかと思われます。議会としても未来に責任ある判断をしていく決意でございますので、皆様の忌憚ないご意見をお寄せいただきたいと思います。本年もどうぞ宜しくお願い致します。（竹森 学）

委員長 野島 進吾　副委員長 宮田 真美　委員 堀内 学　光山 千絵　竹森 学　吉田 博　田中 秀和　古閑森 秀幸

この広報紙は、植物油インキを使用しています。

市政一般質問や定例会の内容など、もっと詳しく知りたい方は
大村市議会のホームページをご覧ください。

大村市議会　検索

編集･発行 **大村市議会**
大村市玖島1丁目25番地
**TEL.0957-52-3828**